令和７年３月７日

令和６年度　とうきょう すくわくプログラム推進事業　活動報告書

園名	台東区立育英幼稚園
所在地	台東区浅草橋２－２６－５

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

「栽培」

＜テーマの設定理由＞

毎年、野菜や花、ハーブ等の栽培活動をしている。また、創立 30 周年のときに始めた菊づくりは 20 年に渡って継続している。野菜や花が育っていく過程をよく見たり、収穫した野菜や花を絵に描いたり、植物を使って色水遊びをしたりするなど、五感をフルに使った活動を実践していきたいと考え、このテーマを設定した。

２．活動スケジュール

＜菊作り＞

４月　菊の挿芽をする。
５月　夏野菜の苗植えをする。
随時　摘芯する。
10 月　開花を見る。
11 月　お世話になった講師の先生を招いて「きくの会」を開く。開花した菊を絵に描く。

＜野菜・花栽培＞

５月　親子で夏野菜の苗植えをする。
７月　収穫をする。
10 月　花の球根植えをする。
冬野菜の苗植え、種まきをする。
３月　収穫をする。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・学級の前、毎日通る場所等、見やすい場所にプランターや植木鉢を置く。
・絵に表すときは近くで本物を見ながら描けるようにする。画用紙の色や絵の具の色、ペンやクレヨン、色鉛筆などを選べるようにした。

４．探究活動の実績

＜活動の内容＞

・菊づくりでは、講師の先生に教えていただきながらすすめ、毎日水やりをしながら、成長の過程をよく見ていた。秋には小菊のつぼみがたくさんつき、花が咲いた喜びを味わった。先生から立派な大菊をいただき、全学年で見たり、においをかいだり、そっと触ったりして楽しんだ。「きくの会」では講師の先生から「大人になっても菊を育てたことを覚えていてほしい」という話を真剣な顔で聞いていた。
・野菜や花の栽培は全園児が取り組んだ。３、４歳児は変化があると喜び、まわりの保育者や友達に知らせたり、保護者と一緒にうれしそうに収穫したりした。５ 歳児は毎日の水やりの中で、細かい変化によく気付き、大切に育てようとする姿が見られた。

＜活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり〉

・菊の絵を描いたときは菊の近くでよく見たり、大きさを確認したり、匂いをかいでみたりしながら、丁寧に描く姿が見られた。１ 日では終わらず、時間をかけて仕上げるうちに、花びらの色が変わってきたことにも気付き、不思議さを感じる姿もあった。
・野菜の花の色、葉の感触など、見たり触れたりしたことを表情や言葉で表現する姿が見られた。植物に集まる虫にも注目し、虫眼鏡でよく見たり、図鑑で調べたりすることも楽しんだ。
・園に咲いている花を使って砂場のままごとをしたり、色水を作ったりして自然物の形の美しさを楽しむ姿が見られた。

＜活動の様子＞

５．振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）
・幼児一人一人の気付きや驚き、感動に保育者も共感することが大切である。また、保育者が丁寧に関わる姿を見せることで、幼児が栽培物に関心をもてるようにしていくことも大切である。
・今後はマイクロスコープを用意し、さらに違った視点で観察することを楽しめるようにしていきたい。
・色水やままごとに使える草花、匂いを楽しめるような草花を増やしていきながら、美しさを感じたり試したりしながら遊べる環境を整えていきたい。

以上